

－ 北海道 －

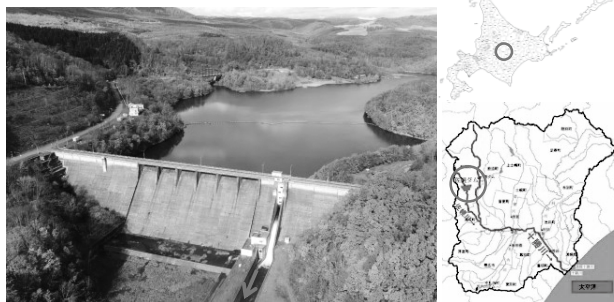
佐幌川流域を洪水から守る！既設佐幌ダムを有効活用して治水機能を強化！

1. はじめに

佐幌ダムが設置されている十勝川水系佐幌川は、北海道の概ね中央に位置する新得町、清水町を流れ、十勝川に合流する一級河川である。

雄大な山々に囲まれたこの地域は、有名なそばをはじめ、温泉やリゾート施設があり、夏季はゴルフやラフティング体験が楽しめ、冬季は道東屈指のパウダースノーを求めて多くのスキーヤーが訪れる。

現在の佐幌ダムは、堤高46.6m、総貯水容量10,400千 m^3 の治水専用ダムである。昭和45年（1970）にダム建設へ向けた実施計画調査を開始し、昭和52年（1977）に本体着工、昭和59年（1984）9月に竣工し、完成後、約40年が経過している。



佐幌ダム全景

位置図



左上から新得そば、トムラウシ温泉、ラフティング、スキー場

2. 平成28年災害とダム再生の概要

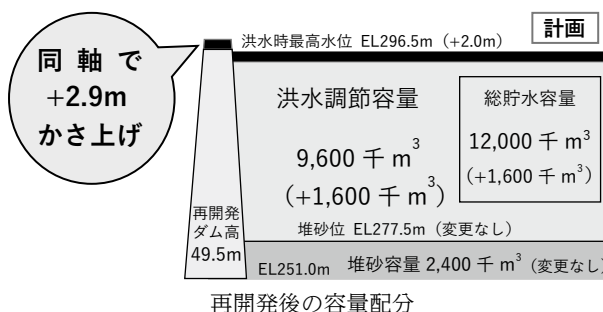
佐幌川流域では、平成28年8月に河川の整備規模を上回る洪水が発生し、沿川の家屋や農地、公共交通機関に甚大な被害をもたらした。この災害を契機に、河道の整備（災害助成事業等）にすみやかに

着手しつつ、佐幌川流域のさらなる治水安全度の向上のため、平成31年度よりダム再生事業に着手、既設ダムを活用した治水機能の強化に取り組んでいる。



平成28年8月洪水による佐幌川流域の被害

ダム再生に当たっては、複数の対策案を比較し、コスト面や施工性から「同軸かさ上げ」案を採用することとし、堤高を現在より2.9mかさ上げて49.5m、総貯水容量を1,600千 m^3 増量し12,000千 m^3 と設定した。



3. おわりに

佐幌ダム再生事業は令和4年度よりダム本体の設計に着手する予定であり、引き続き、事業の早期完成を目指す。これからも魅力あふれる北海道の地域づくりの実現に向け、安全で安心な暮らしにつながる整備を進めていく。



毎年開催されているサホロ湖のワカサギ釣りの様子

北海道 建設部 土木局 河川砂防課 主任 瀬野 晋一